

震災時の現場レポート

『震災とインターネット』

阪神淡路大震災から2年経ったが、われわれは被災の教訓を生かしているだろうか。インターネットを使う環境ならばパソコンやワークステーションを使っているだろうし、仕事でコンピュータを使う人も多いだろう。仕事場や自宅で大地震に見舞われたとしても、神戸のように復旧できるだろうか。本書では、被災時の通信システムを、神戸大学の担当者やNTTの現場技術者の生々しい文章で伝え、分断されたネットワークが徐々につな

がっていくまでのインターネットでのボランティア活動の状況が現場の人々によって語られる。この本には、マスコミを通して伝えられるインターネットの華々しい活躍といった飾られた話はない。陰で支えてきた人たちの行動を通して、あの時が行われたのかが描かれている。この現場からのレポートを真摯に受け止め、日常から何をすべきかを考えなくてはならない。日本海での重油流出事故では、当初ボランティアの活動に携帯電話が使えないものにならなかつたらしい。

緊急時の通信手段として期待されていたものでも、過信してはならないのだ。防災対策を行う立場にあるのなら、この本から学ぶべきことは多い。読む価値のある本である。



田中克己編著
NECクリエイティブ発行
255頁
1500円
ISBN : 4-87269-043-5



ネットワーク時代の危機管理

菊地宏明 Hiroaki Kikutchi

ロックンローラーが奏でるパソコン論

『DOS/V ブルース』

「マッキントッシュ・ハイ」と対になるDOS/Vエッセイ。なんとロックバンド、シーナ&ロケッツの鮎川誠氏が書いている。本人も本文で、パソコンなんかロックっぽくないと思っていたと書いているように、読んでいるほうも、初めは「ロケッツのパソコン体験記なんかちょっとかっこ悪くない?」と思った。しかし読んでみると、鮎川兄ィは、やっぱりロッカーしているのだった。ロッカーの価値観や美意識で、パソコン、インターネットに挑んでいく。それがまた結構かっこいい。パソコン選びなど、機能で選んでいても、詰まるところで選ぶ人の価値観によるものがある。自他ともに骨太のロッカーと認める著者が、ロッカーのスタイルを貫いてDOS/Vマシンを使い、インターネットを始めるところが魅力的である。ロックンロールのスタイル



鮎川誠著
幻冬舎発行
253頁
1648円
ISBN : 4-87728-144-4

はこうだ、どうだと、見せつけられる。そして、ホームページの制作までこなしてしまうのだ。そこそこに苦心がみられたページは<http://www.rokkets.com/>で実際に見られる。ロッカーの熱いものを感じさせる入魂のホームページである。このページがで上がるまでを描いたメイキング本としてみるのもいいだろう。ロッカーは参考にして自分のホームページを作るべし。付属するインデックスリンクもおすすめ。ロックアーティストのホームページがリストアップされている。ロックに熱くなった頃を思い出してアクセスしたいページが詰まっている。

マックを愛する小説家が綴る

『マッキントッシュ・ハイ』

マッキントッシュ(マック)ユーザーである作家の山川健一氏が書いたマックへのラブレターのような熱っぽいエッセイ。初心者へのガイドあり、HTML入門あり、マッキントッシュやアップル社の軌跡あり、盛りだくさんの内容が詰まっており、いたるところに著者の思いが散りばめられ、愛情の深さが感じられる。マックユーザー以外から「だからなんなの」と言われればそれまでなのだが、マックユーザーにはこれほどまで思い入れている人が多い。マックは、もうフェチズムの対象である。マックフェチになると、ほかのパソコンを受け付けなくなる。どう考えてもWindowsのほうが楽なのにあえてマック

を使いたがり、マックの使い勝手が必要以上に自慢する。しだいに、客観性が薄くなり、マックを中心にコンピュータを考えはじめ。形勢不利になりつつも、マックから離れられなくなり、旧型のマックをいとおしむ。道具としての愛着というより、フェチズムに近い。そんなマックユーザーに近しい。そんなマックユーザーを理解してあげよう。ここまで、愛せるパソコンを持っている幸せな人々なのだ。私自身は、この本の記述からもれた2代目マックFATMac(512KBモデル)から愛用しているが、いまだパソコンにしかみえず、マックフェチには至っていない。でも、著者に敬意を表して、伝説のGSキーボードで原稿を書いた。



山川健一著
幻冬舎発行
310頁
1648円
ISBN : 4-87728-145-2

PC業界の痛快毒舌エッセイ

『アストロピスタの パソコン(毒)日記』

「PC WAVE」誌連載のエッセイ「アストロピスタのThe Back of Beyond」をまとめたのが本書。93年から95年までの2年間に書かれたエッセイで、当時のタイムリーな話題を取り上げながら、独断と偏見に毒を混ぜながら書き綴っている。連載と題名が変わっているが、「パソコン(毒)」とはどのような人を指すのかを解題する、巻頭の「廃人論」序説(PC WAVE編集部)からいきなり楽しめる。本文の内容は、連載当時の内容であるため、うわさ話で終わっているものも少なくない。しかし、楽しみは本文よりも、欄外の

注釈にある。あとから書き足した箇所らしく、情報が更新されている。本文にも増して毒っぴい。この本を電車の中で読んでいると、人前であることも忘れて苦笑してしまう。たった2年の連載のあいだにこれほど激しくコンピュータ業界の動向が変化しているのには、あらためて驚いた。この本なら、笑いながら一目でわかる。辛口のコンピュータ業界エッセイとして十分に堪能できる。といっても、それからAppleのNeXT買収、セガとバンダイの合併と、唾然とするような展開を見せているこの業界。できることなら、もう少し早く出版して欲しかった。



アストロピスタ著
PC WAVE編集部編
ラッセル社発行
244頁
1500円
ISBN : 4-947627-28-X

マックでWEBデザインをする人に

『WEBデザイン ハンドブック』

マッキントッシュを使うデザイナー向きに書かれたWebページ作成の入門書だが、タグの説明に終始するHTML解説本ではないし、プレーンテキストから順を追ってコンテンツを仕上げていく作業過程を説明するなか、コツなどを盛り込んでいてとても読みやすい。Webページ作成セミナーなど

の教本としてすぐにも使えそうである。ただし、使用ツールがマッキントッシュのソフトなので、Windowsユーザーにはメニュー画面などがわかりづらいだろう。さらに、デザイナー向けのためPhotoShopな

どの高価なソフトを使っているが、個人の初心者では敷居が高い。そのうえ、図版などはPhotoShop、Netscape Navigatorの英語版を使っているにもかかわらず、本文中では日本語版で説明されて、食い違いが生じている。にもかかわらず、その違いの補足説明が見あたらない。また、たまに日本側で用意した図版も混じっており、その図版は日本語版のソフトの画面だったりする。図版で使われるソフトの英語版/日本語版が統一されていないのでは、初心者が読んだときに混乱を招く。できることならば、すべての図版を国内で入手できる日本語版で統一して欲しかった。オリジナルが優れているだけに、とても残念である。

Jennifer Niederst, Edie Freedman 著
土橋敬彦監訳/ユニテック訳
オライリー・ジャパン発行
オーム社発売
165頁
4017円
ISBN : 4-900900-12-5



お宅のコンピュータを拝見

『DIGITAL WORK SHOP 97』

技術書のようなタイトルをしているが、パソコン版「となりの晩ごはん」。言うなれば仕事場拝見レポート集である。新しくパソコンを買い揃えるときになど、あの人は何を使っているのだろうか、自分の仕事に向いているパソコンや周辺機器は何かなど気になるものである。そこで、いろんな仕事場で活躍されている人々33人のパソコンを使う現場を各6ページでレポートしている。わ

くわくしながらページをめくると、業界大手の社長、会長から学生、漫画家にいたるまでさまざまな職種、役職の仕事場が見られる。しかし、インタビュー形式のためか、製品や会社のPRに終始することが多く、退屈なページもある。「失礼します。お宅はパソコンをどう使っていますか」と訪ねて行ったら、「まあまあ、ゆっくりして行きたまえ。えー、わが社は…」と長い長いお話を聴かされるようでつらい。そのうえ、個人の略歴なんて、機器選定の参考にならないし、

本文に関連しない写真が多く、その写真の説明文も意味不明だったりする。「はじめに」で語られた企画趣旨の一文「仕事の達人たちが自分の道具としてどのようにパソコンを使いこなしているのか、という部分を切りとって一冊の本にしよう」にかなりの意気込みを感じただけに落胆も大きかった。98年版に期待をしたい。

北川雅洋編
三五館発行
237頁
1280円
ISBN : 4-88320-099-X





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp